



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

琵琶湖・GX推進対策特別委員会 資料4
令和6年(2024年)3月13日(水)
総合企画部CO₂ネットゼロ推進課

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画

進捗状況等について



1. 計画期間

長期目標を見据え、2021年度(令和3年度)から2030年度(令和12年度)までの10年間(今後の社会経済情勢等の変化に対応するため、概ね令和7年度を目途に中間見直しを行うこととする。)

2. 目指すべき将来像

2050年のCO₂ネットゼロの実現に向けて実施する「地域づくり」「人づくり」「社会経済活動」など、あらゆる取組によって、**単に温室効果ガス排出量を削減するだけでなく、様々な形で地域課題の解決や地域の活性化が実現する姿**を目指す。

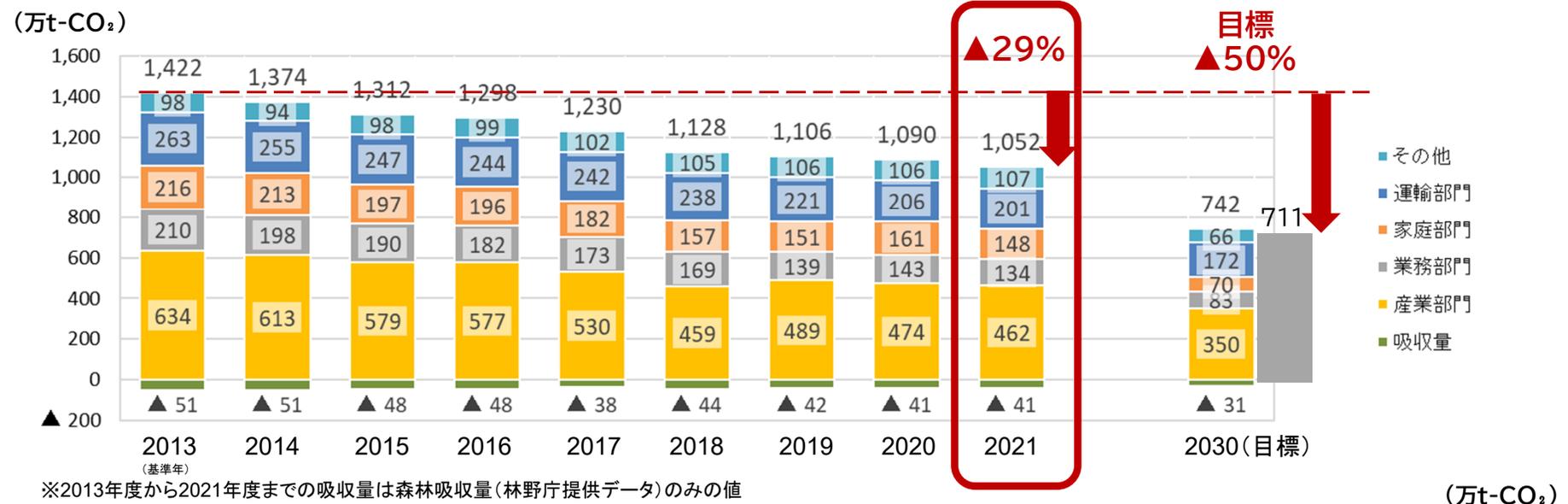
3. 温室効果ガス削減目標

排出削減・吸収量の確保により、2030年度において、2013年度比**50%減**を目指す。

併せて、再生可能エネルギー導入目標を、2019年度比で**2.1倍**に設定。

中期目標の進捗状況(温室効果ガス排出量)

- 2021年度の温室効果ガス総排出量 **1,052万 t-CO₂** 前年度比 **3.5%減**
- 推進計画で定める基準年度(2013年度)比 **29%減** 目標に対する進捗率 **58%** ※森林等吸収量含む



	2013年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	過去値との比較		2030年度(目標)	
				2013年度比	前年度比	進捗率	
産業部門	634	474	462	▲27%	▲2.6%	350 (▲45%)	61%
業務部門	210	143	134	▲36%	▲6.1%	83 (▲60%)	60%
家庭部門	216	161	148	▲31%	▲7.9%	70 (▲67%)	47%
運輸部門	263	206	201	▲23%	▲2.4%	172 (▲35%)	68%
その他	98	106	107	8%	0.7%	66 (▲33%)	▲26%
合計	1,422	1,090	1,052	▲26%	▲3.5%	742 —	54%
吸収量	▲51	▲41	▲41	—	—	▲31 —	—
合計(吸収量含む)	—	1,049	1,011	▲29%	▲3.6%	711 (▲50%)	58%

部門別の二酸化炭素(※)排出状況の特徴(対前年度比) ※二酸化炭素が総排出量の92.5%を占める

- ・ **コロナ禍からの回復**により、事業活動(産業部門 業務部門 運輸部門(事業活動由来))に関するエネルギー消費量が増加
- ・ **世帯数の増加**により、家庭部門のエネルギー消費量が増加
- ・ **電力の排出係数の低下**(電源構成の低炭素化)によりCO₂排出量は減少

産業部門 ※製造業	2013 年度	2020 年度	2021 年度	過去値との比較	
				2013 年度比	前年度比
エネルギー 消費量(TJ)	68,258	64,580	65,014	▲ 4.8%	0.7%
CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)	6,165	4,555	4,441	▲ 28.0%	▲ 2.5%

※産業部門の二酸化炭素排出量の96.1%を製造業が占める

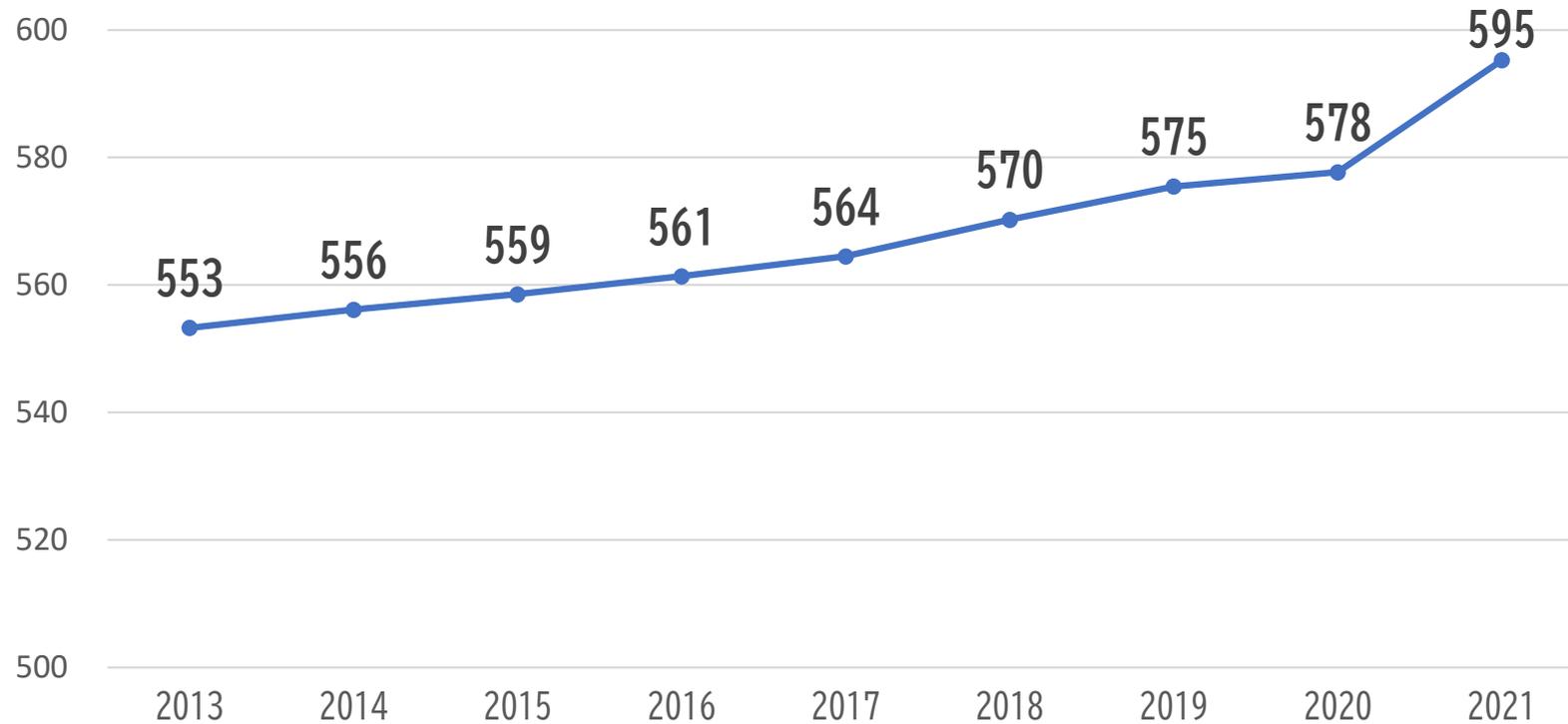
家庭部門	2013 年度	2020 年度	2021 年度	過去値との比較	
				2013 年度比	前年度比
エネルギー 消費量(TJ)	20,312	18,779	19,247	▲ 5.2%	2.5%
CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)	2,163	1,609	1,483	▲ 31.4%	▲ 7.9%

業務部門	2013 年度	2020 年度	2021 年度	過去値との比較	
				2013 年度比	前年度比
エネルギー 消費量(TJ)	20,284	16,681	16,989	▲ 16.2%	1.8%
CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)	2,102	1,426	1,339	▲ 36.3%	▲ 6.1%

運輸部門 ※自動車	2013 年度	2020 年度	2021 年度	過去値との比較	
				2013 年度比	前年度比
エネルギー 消費量(TJ)	34,735	27,505	27,260	▲ 21.5%	▲ 0.9%
事業活動 由来	14,531	11,863	12,601	▲ 13.3%	6.2%
生活 由来	20,205	15,642	14,659	▲ 27.4%	▲ 6.3%
CO ₂ 排出量 (千t-CO ₂)	2,382	1,889	1,872	▲ 21.4%	▲ 0.9%

※運輸部門の二酸化炭素排出量の93.1%を自動車が占める。

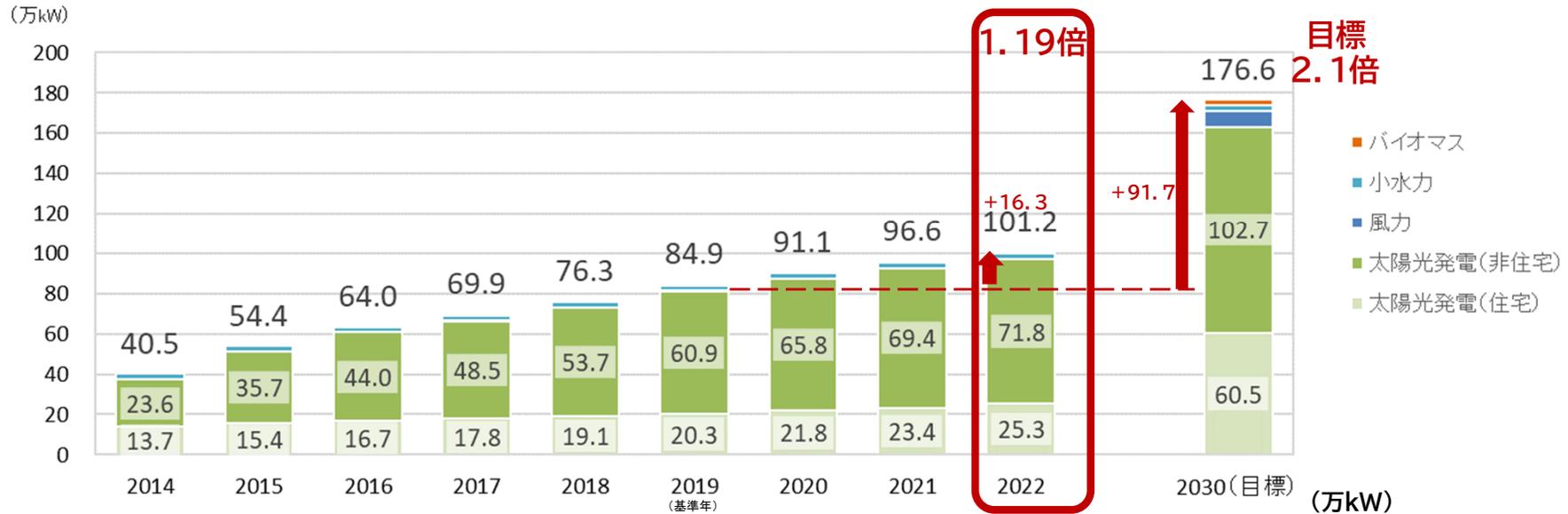
滋賀県の世帯数の推移(千世帯)


 電気の二酸化炭素排出係数(単位:kg-CO₂/kWh)

2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
0.520	0.529	0.506	0.503	0.442	0.371	0.358	0.374	0.333

中期目標の進捗状況(再生可能エネルギー導入容量)

- ・ 県内の2022年度の再生可能エネルギー導入量は **101.2万kW** 前年度比 **4.7%増** (4.6万kW増)
- ・ 推進計画で定める目標に対する進捗率 **17.8%**
- ・ 固定価格買取制度(FIT制度)の基準価格の低下により再生可能エネルギーの**導入推移は鈍化**している。

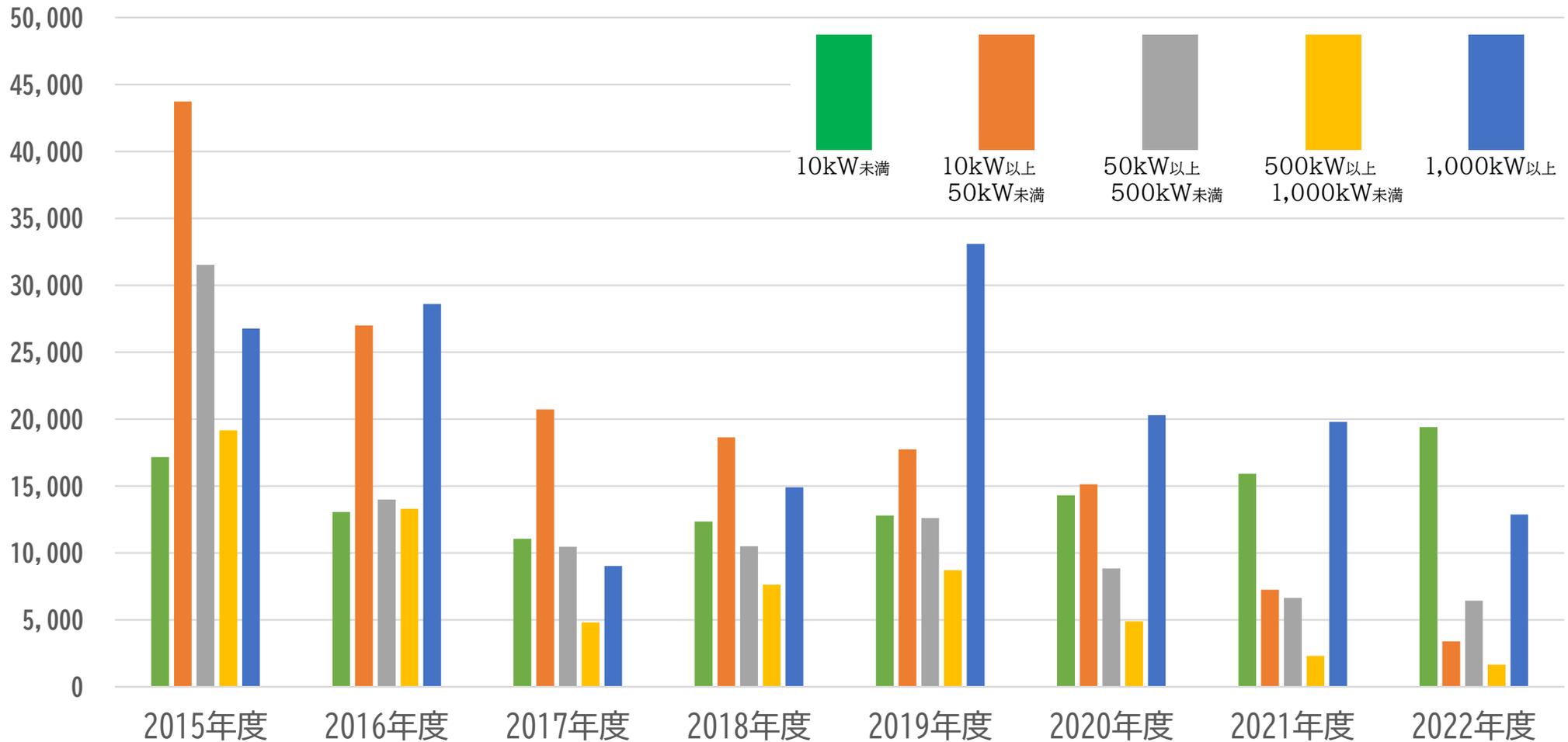


	2019年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	前年度比	2030年度	
					目標量	進捗率
太陽光	81.2	92.8	97.2	+4.7%	163.2	19.4%
住宅	20.3	23.4	25.3	+8.3%	60.5	12.4%
非住宅	60.9	69.4	71.8	+3.5%	102.7	26.2%
風力	0.2	0.0	0.0	-	7.8	-
小水力	2.7	2.7	2.7	+0.7%	2.9	12.6%
バイオマス	0.7	1.1	1.3	+16.4%	2.7	26.6%
合計	84.9	96.6	101.2	+4.7%	176.6	17.8%

県内の太陽光発電(※)導入の推移 ※太陽光発電が本県の再生可能エネルギーの96%を占める

- ・ 10kW未満の太陽光発電の導入が**増加傾向**に転じている。
- ・ 10kW以上50kW未満の太陽光発電の導入が**鈍化**している。

滋賀県 FIT導入容量(kW) ※各年度増加分を記載



【予算額 109.7億円】

地域や経済の成長につながるCO₂ ネットゼロ社会の実現を目指す

温室効果ガス排出量の削減

① CO₂ ネットゼロにつながる 快適なライフスタイルへの転換

- 家庭における省エネ・再エネ設備の導入支援
- 次世代自動車の導入支援
- etc



5.7億円

⑧ 県における率先実施

- 新 県施設の照明のLED化
- 新 県施設へのEV用充電器の導入調査
- 公用車におけるEV車等の導入
- etc



18.0億円

② 自然環境と調和するCO₂を排出しない地域づくり

- 事業所における省エネ・再エネ設備の導入支援
- 新 地域と調和する再エネの導入促進に向けた検討
- オーガニック農業の推進
- etc



41.0億円

⑤ 革新的なイノベーションの創出

- 水素モビリティの試験運用の実証
- 新 水素サプライチェーン構築に向けた検討
- CO₂ ネットゼロに資する技術の社会実装に向けた実証への支援
- 新 近未来技術等関連産業の可能性調査
- etc



1.6億円

⑦ 気候変動への適応

- 気候変動による琵琶湖の環境への影響調査
- 高温に強い米（きらみずき）の生産拡大
- etc



2.5億円

⑥ CO₂ ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出

- 新 次世代リポーターによるCO₂ ネットゼロの取組発信
- 県立高校におけるCO₂ ネットゼロに向けた研究取組等の推進
- ネットゼロフォーラムにおける連携取組の推進
- etc



1.2億円

地域・産業の持続的な発展

③ 新たな価値を生み出し 競争力のある産業の創出

- 中小企業のCO₂ 排出量削減に向けた取組や技術開発の支援
- etc

1.1億円

④ 資源の地域内循環 による地域の活性化

- 下水汚泥の燃料化
- 農村地域の再エネの導入・活用支援
- 畜産分野における地域内飼料の活用推進
- 新 バイオマスエネルギー利用推進に向けた検討
- etc



38.6億円